

NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www12.plala.or.jp/hokjioka/> (変更:www.hokjioka.net) E-mail: codmokan@agate.plala.or.jp定価:250円/年額:3,000円(送料込)
*会員は会費(支援金)を含む

■■ INDEX ■■

- P1:巻頭言/
P2:ヒューマントラスト/
教育・普及活動・支援
P3:太田堯映画・「かすかな光へ」上映会決まる
p4-5:大学生実習 No.2
p6:教育実践/スクール
p7: ↓ /子ども館
p8:スケジュール、他

《写真説明》教育大学釧路校の今年度2回目実習:
今回は、「択捉島見聞記」
「数学の歴史」授業

「自由が丘スクール実習に対するこだわり」

北海道教育大学釧路校 教育内容方法研究室 三浦 和樹

四年生となりこの実習の参加回数も卒業式を合わせると八回目となりました。初回実習で、スクールの生徒たちとふれ合う中で、関わり方が上手ではない子どもがいること、しかし、他の子ども、スタッフ、学生と関わりたいと思う気持ちが強い子どもも多いと感じました。

この初回で感じたことをきっかけにこだわってきたのが「三浦和樹」として子ども・スタッフ・学生と関わることです。学生という立場もありますが、その前に一人の人間としての自分の個性を子どもにぶつけることで、子どもたちも自分に個性を見せてくれるのではないと考えました。子どもの個性を見て自分も成長できるのです。

子どもがかけてくれた言葉や、子どもが私の話しをしていることを聞くことでまた自分を見直すきっかけを与えてもらっています。今、中学校の教員免許をとろうと考え直したこともここでの実習のおかげです。これからも、自分らしく行動していくとともに、“自分らしい行動の大切さ”を伝えていけたらと思います。

(参考:大学では1回目以降は単位外ですが自主・自費で来訪してくれます。他の学生も同様です。

夕張以来の実践記録は書籍「卵」教師たちの挑戦、「陽はまた昇る」(高文堂出版)に所収)

太田堯先生・ドキュメンタリー映画

「かすかな光へ」普及活動

札幌:10月29日(土)上映 3ページ記載

「生きるとは、学ぶとは ——
人と人、人と自然とを結ぶ 『教育とは命と命
のひびき合い、創造活動・アートなんです』